

企 業 名	フタムラ化学株式会社
実 行 日	２０２３年３月３１日
実施時期	２０２５年８月
コメント	<p>K P I 達成に向け順調に進んでいる。</p> <p>① 温室効果ガス排出量の削減</p> <p>【二酸化炭素排出量を２０３０年に２０１３年度比で３５％削減する】</p> <p>【二酸化炭素排出原単位を２０２３年度から毎年前年比で減少】</p> <p>・２０２４年度は２０１３年度比４５．２％削減。排出原単位では、前年比７５％となり、目標達成。２０２４年１月から稼働した大垣工場の石炭ボイラーから天然ガスボイラーへの更新が大きくＣＯ<sub>2</sub>排出量削減に寄与している。その他にも開発センター（田原市）の燃料転換を図り、着実にカーボンニュートラルへの取り組みを実施している。</p> <p>② 水資源の保全</p> <p>【用水使用原単位を２０２３年度から毎年前年比１％削減する】</p> <p>・製造工程で水を多く使用する製品の一部を海外で生産するようになり、国内生産が減少したため、２０２４年度は２０２３年度比▲１３％と目標達成。</p> <p>③ 廃棄物量の削減</p> <p>【廃棄物発生量を２０２３年度から毎年前年比１％削減】</p> <p>・２０２４年度は２０２３年度比▲２３％と目標達成。大垣工場で使用していた石炭ボイラーは廃棄物として石灰が生じていたが、ボイラー転換の効果により廃棄する石灰が大幅に減少している。</p> <p>④ 「大垣法」の実用化</p> <p>【「大垣法」で製造する製品の拡充】</p> <p>・２０２３年度に稼働した不織布（フェイスマスク、精密機械包装）の新製品が軌道に乗り、大幅に売上増加していることを確認した。</p> <p>⑤ マスバランス方式によるバイオマスプラスチックフィルムの拡充</p> <p>【マスバランス方式のバイオマスプラスチックフィルムの拡充】</p> <p>・「サスフィ」ブランドとして展開し、世界の環境配慮商品への需要も追い風となり、２０２４年度は２０２３年度比約１．６倍の売上を計上している。</p> <p>⑥ 従業員の育成・安全活動</p> <p>【階層別研修を継続して毎年実施】</p> <p>【防災訓練を継続して毎年実施】</p> <p>・階層別研修を中心としたプログラムに則り、幹部候補者研修など多岐にわたり人材育成に注力している。</p> <p>・各工場で実施している防災訓練は消防法で定められた以上の訓練を実施しており、ＢＣＰ対応への全社的な対応を確認した。</p> <p>⑦ ダイバーシティの推進</p> <p>【障がい者雇用を２０２３年度から２．３％以上を維持】</p> <p>・２０２４年度は目標未達成であるが、採用活動は継続して実施している。</p>